

社員と会社を守る！

大地震 初動対応の準備

～発生直後に活用する緊急対応マニュアルの策定ポイントとは～

ソナエルワークス 代表 BCP策定アドバイザー 高荷 智也

■“揺れた！”そのときの備えを急ごう

巨大地震の到来が絵空事ではない現実を我々は2011年3月、身をもって体験した。その後の地震活動は、地域を拡散して活発の度合いを高め、今や「いつ、どこで起きてもおかしくない」という国民的共通認識を得るに至っている。当然、企業は本社管理部門を中心に精緻なBCP（事業継続計画）の策定に余念のないところと推察されるが、では、「揺れた！」「来たぞ！」という瞬間に、どれだけ社員が動ける仕組みになっているだろうか。発生状況次第というカオスに対処するにはBCP発動前の初動が1つの鍵になる。初動が適切であれば、その後のBCPの本格稼働も容易に進む。あるいはBCPの準備ができていなくても適切な初動なら、状況を乗り切れる可能性は高くなる。本稿では“分厚いBCPマニュアル”に先駆けて、まずは“使える初動対応マニュアル”の策定を急ぐべきだという前提で専門家のご協力をいただいた。12項目の解説に加え、非常時の組織の動かし方の理解を助けるため「業務時間中に発災した場合」「業務時間外に発災した場合」の初動対応フローを図解で示した。社員と会社を守るためにぜひ確認しておきたい。（編集部）

CONTENTS

- Q01** 大地震直後のためにどのようなマニュアルを準備すべきですか？
- Q02** 初動対応の前提としてどのような災害が想定されますか？
- Q03** 災害リスクの想定を行う際に適切な情報源はありますか？
- Q04** 最初にまとめる「緊急対応」に記載すべき内容は何か？
- Q05** 「救助活動」の項目には具体的にどのようなことを記載すべきですか？
- Q06** 具体的にそろえるべき救助道具にはどのようなものがありますか？
- Q07** 「応急手当」「緊急搬送」に必要な準備は何か？
- Q08** 応急手当用品のそろえ方、AED準備のポイントは何か？
- Q09** 「避難計画」はどのように立案・記載すべきですか？
- Q10** 非常持ち出し袋や備蓄品のそろえ方にポイントはありますか？
- Q11** オフィスで用意する「備蓄品」の目安はありますか？
- Q12** 大地震以外の災害対応の準備ポイントは何か？

参考1 初動対応の構成要素
業務時間中に発災した場合の対応フロー

参考2 初動対応の構成要素
業務時間外に発災した場合の対応フロー

■高荷智也（たかに ともや）：

「自分と家族が死なないための防災対策」と「中小企業の身の丈BCP策定」のポイントを解説するフリーの専門家。地震対策や感染症パンデミック対策などの自然災害から、企業の実務に沿った現実的なBCP策定サポートまで、分かりやすく実践的なアドバイスに定評があり、講演・執筆・コンサルティング・メディア出演など実績多数。著書に『中小企業のためのBCP策定パーフェクトガイド』など。

●ソナエルワークス

公式サイト「備える.jp」：<https://sonaeru.jp>